



## 「インスピレーションになろう」 BE THE INSPIRATION

2018-19年度 RI会長／バリー・ラシン RI.D2590ガバナー／金子 大 横浜旭RC会長／市川 慎二

国際ロータリー第2590地区

### 横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NJTS1階／〒241-0821  
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712  
http://yokohamaasahirc.cho88.com

Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル  
(株岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



被災地の子ども達にXマスプレゼント



チャリティーコンサート



ガールスカウトとクリーン作戦

2018年9月5日 第2350回例会 VOL. 50 No. 9

■司 会 SAA 後藤 英則

■開会点鐘 会 長 市川 慎二

#### ■出席報告

会員数	31名	本日の出席数	28名
本日の出席率	93.33%	修正出席率	100%

#### ■本日の欠席者

齋藤

#### ■他クラブ出席者

新川（地区）

#### ■ビジター

田中 伸一様

（北山ハウス産業株代表取締役・川崎西 RC）

久保田正一様（川崎西 RC）

#### ■9月誕生記念祝



増田嘉一郎会員 9.20

岡田 清七会員 9.9

#### ■会長報告

皆様、こんにちは。先週の夜間移動例会では多くの方にご参加いただき、また矢田会員も参加され、笑顔で盛り上がり、嬉しく思いました。また、須藤会員からはマジック披露もあり、皆様、楽しい一時を過ごすことができたことと思います。

進行してくださりましたSAA後藤会員や親睦委員の皆様もありがとうございました。

本日は社会奉仕フォーラムとなります。卓話者として、卓話バンクより北山ハウス産業株式会社の田中伸一様をお迎え致しました。

社会奉仕は、地域に住む人々の生活の質を高めるとともに、ロータリアン一人一人が「超我の奉仕」を実践する大きな機会です。

当クラブでも、今まで多くの社会奉仕活動を行ってきました。大切なものは残し、ニーズにあった新しい奉仕を生み出すためにも、社会奉仕フォーラムは重要な役割をもちますので、本日のフォーラムに期待しております。

#### ○地区関係

1) 9月1日(土)にロータリー青少年交換、塩麻里奈さんの帰国報告に参加してまいりました。報告内容はクラブでした同じ内容を10分で報告しておりました。どの子も、派遣先での思い出やエピソード、そこで得たものが心

の強さになったように感じられました。

2) 9月9日(土)には、ロータリーリーダーシップ研究会に佐藤真吾会員と須藤会員が出席されます。

#### ○クラブ関係

1) 9月26日(水)は体験例会日となります。当日は、流鏝馬の小笠原清基様より卓話を頂ける大変貴重な機会です。まだ日にちもありますので、引き続きお声かけを宜しくお願い致します。

同じく26日には、当クラブの災害対策支援基金の設立日にもなります。後程、災害対策の委員長である五十嵐会員より、基金についての内容説明がございます。それをもとに情報集会にて前向きなご意見を伺えればと思います。

#### ■「横浜旭 RC 災害対策支援基金」について 五十嵐 正

○経緯とその目的についてご説明いたします。

お配りしました資料をご覧なりながらお聞きください。

これまで、東日本大震災以降クラブでは災害対策委員会が設立され、皆様ご承知の通り、十年近く様々な支援活動をして参りました。その経験から支援の在り方について一番気にかかる点の一つに、ロータリーの義捐金の使われ方、その有効性があります。

東日本大震災や熊本地震でも、友に大ざっぱな報告はありましたが、詳細な報告書は出ておりません。一部では被災地クラブに一律に配布され、何に使うか問わないといった話も聴きました。ここに四つのテストの「みんなに公平か」が引用されます。

それにはいろいろな事情があると思いますが、第一は日本は震災大国のわりには、備えが不十分な事。例えば、被災後ロータリーは現地地区対策本部は立ち上がりますが、その機能は義捐金受付窓口口座のお知らせのみ。熊本の際地区対策本部に問合せをかけても、混乱の為問合せは控えて欲しいとの回答。全国の善意の問い合わせの受け皿が無い。被災地に現地対策本部を立ち上げる、しかし経験の

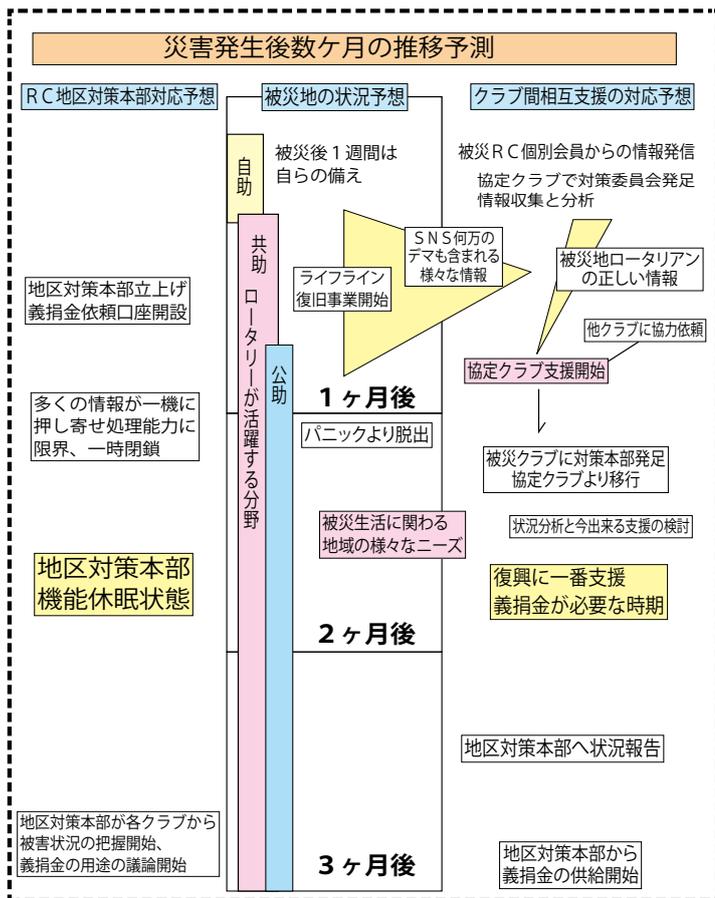
無いロータリアンが名前だけの組織形成では機能しないのも当然な話です。ただ、被災地のクラブに運よく連絡がとれると、被災状況が、今何が一番の支援か直ぐに回答が得られます。東日本では、岩沼 RC に。熊本では宇土 RC と連絡がとれ、いくつかの支援事業をやってきました。これまでの経験から、災害委員会では RC の支援で事前に備えられ、支援物資が2次災害にならずに、且つ迅速に実行できる方法は支援資金であると合意を得ることが出来きました。

災害基金の考え方は、すでに第2650地区(京都・滋賀・福井・奈良)で実際に地区に組織され運用されております。(これは地区ガバナーの一声で2004年に創設され、今では1億円位の資金が用意されているとのことです。)熊本ではその資金がいち早く供給され、瓦礫撤去の費用に活かされておりました。

クラブで基金を創設にあたり、その立上げ方、運用基準、運用例など2650地区から資料を取り寄せ勉強中であります。ただ、全てが揃ってからの創設ではいつになるか分からないので、運用基準、資金調達方法など勉強しつつ、クラブ内で先ずは100万(これくらい集めないと地域にクラブの本気度が示せない)を目標に資金を集め、100万と運用基準、資金調達方法がまとまり次第、地域企業、個人に協力をお願いしていく事で委員会の意見がまとまり、理事会でご説明し承認を頂きました。当面は基金立上げは9月26日、体験例会の日と期日を定めました。

2650地区の運用基準には「基金は緊急時の対応であり、その後の継続的な支援については、持続可能でかつ人々の自立を支援するような、ロータリーらしい奉仕が求められていることは言うまでもない。自然現象を含めて、ロータリーも不測の事態に備えて、危機管理を今まで以上に充実しなければならない時代になった。」とあります。実に明快な理念と感じ入りました。

クラブ単体で災害ファンドを創設する意味は、災害ニーズのミスマッチを回避する目的



**第2650地区の地区災害対策基金特別委員会の例**

**基金設立の経緯**

2004.07 福井豪雨・台風23号の被害  
 全国ガバナー会の義捐金の一部を手元に残す、地区災害基金創設(神谷G)  
 2012-13年度 東日本大震災の経験から、他地区基金など統合し  
 国際ロータリー第2650地区災害対策基金として構築(河本G)

**運用事例**

●国内はもとより、世界的な災害の場合、この基金から直ちに義援金を被災地に送り、その後、地区内で義援金を募金し、常に一定額の基金をプールする方法。  
 これにより、義援金を新たに募る為の時間的ロスがなくなり、タイムムリーな支援に繋がります。  
 ●基金管理については、災害発生時、ガバナーを中心に地区災害基金委員が集まり、迅速に義援金支出を決定する方法。  
 ●基金は緊急時の対応であり、その後の継続的な支援については、持続可能でかつ人々の自立を支援するような、ロータリーらしい奉仕が求められていることは言うまでもない。  
 自然現象を含めて、ロータリーも不測の事態に備えて、危機管理を今まで以上に充実しなければならぬ時代になった。

**支援例**

20080502 ミャンマー、サイクロン災害支援、被災直後直ちに地区による支援が決定され、約1か月後橋本G、G補佐、元世界社会奉仕委員とともに現地に入り、直接被災者に支援活動を行った。(総額1,000万円の支援)

2012 九州北部豪雨災害支援、フィリピン被災復旧支援  
 2014 福知山水害、広島の上石流災害  
 2015 パヌアツ、ネパール地震

**支出基準**

- 支出基準は過去の事例を勘案し委員会が決定する。
- 義援金支援活動費は原則として基金の60%以内とする。
- 地区内ロータリークラブに対して、その支出金額見合う金額を目的に募金を要請する。

**基金の積立**

- 地区内・地区外ロータリークラブの義援金
- 各年度決算剰余金から繰り入れる。



もあります。それは、従来、義捐金が活かされないのは受け手側の状況にも問題があります。先ほどお話ししましたが、大震災が発生した場合、経験の無いロータリアンの名前だけの地区対策本部では機能しないのも当然な話で、熊本の際、地区の対策本部に問合せをかけたも、混乱の為問合せは控えて欲しいとの回答。しかし被災地のクラブに運よく連絡がとれると、被災状況が、今何が一番の支援か直ぐに回答が得られました。熊本では宇土RCと連絡がとれ、自転車支援を行い、その際いろいろな報道機関から取材をうけ、新聞誌上に掲載され、友にも紹介されました。

また、熊本のロータリアンの感謝の手紙とビデオレターに、私達自身感銘したこと、皆様も記憶に新しいことと思います。クラブ to クラブの直接支援が有効かつ効果的な支援の方法の一つと確信になりました。

災害時には今はネットで何万という情報が交錯します。正しい情報、誤った情報、デマ、そんな中で、岩沼RC、宇土RCのように、被災地のクラブの情報が私達は信頼出来る情報と判断します。

もちろん、基金拠出の際は、出来る限り私達自身の目で確認いたします。従いまして、理事会で、地区の募金との整合性を問われましたが、地区の募金とは役割が異なりますので、災害ファンドからの地区募金の立替は行いません。

災害対策委員会では、今後災害支援ファンドと今岩沼RCから旭と岩沼だけでなく、他クラブとのクラブ間ネットワークの構築を進めて欲しいとの依頼をうけております。災害ファンドとクラブ間ネットワークの構築を活動の2本柱と位置付け活動してまいります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

■前年度幹事より報告 田川 富男

クラブ活動報告書の配布をもちまして無事に幹事の役務を解く事は出来ました。期間中にはいろいろご協力頂きまして有難うございました。

活動報告書は旭ロータリーのヒストリーです。今後の活動のヒントがあると思いますので、参考にご覧ください。よろしくお願ひ致します。

■米山委員会 青木 邦弘

10月のフォーラムを日帰りバス旅行に予定しております。

日時 10月8日(月、祝日)

昼食は三島の鰻、沼津港での買い物  
米山記念館訪問、

\*宋さんの萩バス利用予定、バスガイド付き

■宋さん、元気になりました!



■親睦委員会 北澤 正浩

1) 情報集会の各グループで集会を予定していただいておりますが、出席出来ない方は今日の例会終了後に集会を予定しておりますので、出席をお願いします。

2) 9月12日の川崎競馬ナイトレース観戦にご参加、お願致します。

■ニコニコBOX(会員敬称略)

久保田一正様(川崎西RC) / 本日はお世話になります。宜しくお願ひ申し上げます。

市川 慎二 / ①夜間移動例会では、多くのかたにご参加いただき有り難うございました。

須藤会員のマジックはいつ見ても鮮やかで関心します。②本日の社会奉仕フォーラム、田中伸一様、宜しくお願ひ致します。久保田様ようこそ。

安藤 公一 / ①川崎西RC 田中様、久保田様、ようこそいらっしゃいました。本日の卓話宜しくお願ひ致します。②テニス全米オープンでは錦織選手、大阪選手共に頑張っています。増田嘉一郎 / 今年も夫婦で誕生祝いを頂くことが出来ました。共に体力は衰えています。有難うございました。

吉原 則光 / ①台風一過秋晴れと思ったところに猛暑ぶり返しとは! 負けるな例会! 頑張れ例会!!。③田中様、ご苦労様です。卓話宜しくお願ひ致します。

岡田 清七 / 誕生祝いを有難うございます。

田川 富男 / 前年度幹事として報告書にて終了しました。ありがとうございました。

目黒 恵一 / 田中伸一様、本日は卓話有り難うございます。

佐藤 利明 / ①台風21号の被災者の皆様にお見舞い申し上げます。②川崎西RC 田中さん、卓話宜しくお願ひ申し上げます。

内田 敏 / 目黒さん、田中様、本日のクラブ奉仕フォーラムよろしく!

新川 尚 / 川崎西RC 田中様、久保田様、本日は卓話宜しくお願ひ致します。

倉本 宏昭 / 川崎西RC 田中様、本日の卓話宜しくお願ひ致します。久保田様ようこそ。

大川 伸一 / 田中様、本日の卓話をよろしくお願ひします。

佐藤 真吾 / ①川崎西RC 田中様、久保田様、当クラブの例会にようこそお越し下さいました。②9/26の体験例会が近づいてきました。会員の皆様、卓さんのお知り合いをお誘い下さい。

須藤 亘 / 先週夜間例会、楽しかったです。有難うございました。又、夏日となりました。汗が止まりません。皆様どうぞご自愛下さい。

北澤 正浩 / 田中様、卓話よろしくお願ひ致します。久保田様ようこそ。

## ■社会奉仕フォーラム

○卓話者紹介

目黒 恵一

田中伸一 会員 1963年10/14 生まれ

職業 北山ハウス産業(株)代表取締役

職業分類 不動産建設・管理

ロータリー歴

2011.1.7 入会

2012-13 プログラム委員長

2014-15 青少年奉仕委員長

2015-16 姉妹・有効クラブ委員長

2016-17 国際奉仕委員長、地区副幹事

2017-18 地区拡大、増巧委員

2018-19 副会場監督

地区拡大・増強委員会副委員長

## ■卓話

「誰もが安心して暮らせる街を目指そう」

田中 伸一様 (川崎西 RC)



川崎西ロータリークラブ田中伸一です。地区では拡大増強委員会副委員長、クラブでは戦略計画委員会副委員長を務めています。卓話バンクを通じでお話をいただきありがとうございます。

特定非営利活動法人 防災・防犯ネットワークという地域の防災・防犯に取り組む活動をしている団体を主宰しております。

この団体をスタートした経緯をお伝えしたいと思います。

きっかけは2001年、大阪教育大付属池田小学校の事件です。私が小学校のPTA会長に就任した直後に起きた事件です。この年のPTA関係者にとって、「校内・校外での児童の安全をどうやって確保したら良いのか？」を真剣

に考えさせられた年でありました。

どうしたら自分がPTA会長を務めてる小学校の児童が安心して学校に通うことができるのか？を模索していました。

一方、地域のマンション管理を仕事としていますが、多発する空き巣事件に悩んでしました。当時、外国人窃盗団によるピッキングやサムターン回しという方法を使った空き巣が多発しており、自分の会社で管理している物件の安全になるためにはどうしたら良いのか？悩んでいました。

そんな時、9.11ニューヨークでのテロをきっかけに、元国連難民高等弁務官の緒方貞子さんにお会いする機会があり「もはや一国だけの安全・安心はあり得ない世界になった。それは地域でも同じことです」とのアドバイスをいただきました。

目からうろこが落ちる思いでした。今までは自分が会長をしている学校の子も達だけが安全なら…、自分の会社で管理しているマンションだけが安全なら…と考えていたのですが、子どもだけが安全な地域は無い。子どもが、女性が、お年寄りが、「誰もが安心して暮らせる安全な地域にならなければならない。」と思えたのです。

当時のPTA仲間とNPOを作り防犯活動を始めました。テーマは地域に関心を持ち、情報を知り、共有し、自分にできるアクションを起こす事です。ブローケンウィンドウズ理論と犯罪機会論を利用して、犯罪や災害に強い町づくりを目指しています。

代表的な活動は、わんわんパトロール隊です。犬の散歩に出かける時間を、防犯の視点を持って散歩していただく。普段の生活の中で出来る地域貢献です。多くのワンちゃん隊員に登録いただいております。

一人の思いから、一人の行動から、町は変わります。

## ■次週の卓話

9/19 中嶋貴浩様

(朝日税理法人・シニアマネージャー・税理士)

週報担当 今野 丁三

平成30年度7月出席率一覧表

員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率
1	安藤 公一	100	0	100	21	佐藤 真吾	100	0	100
2	青木 邦弘	100	0	100	22	佐藤 利明	100	0	100
3	福村 正	75	0	75	23	関口 友宏	100	0	100
4	後藤 英則	100	0	100	24	宋 謹衣	-出席規定免除-		
5	兵藤 哲夫	-出席規定免除-			25	須藤 亘	100	0	100
6	市川 慎二	100	25	125	26	田川 富男	100	0	100
7	五十嵐 正	100	0	100	27	滝澤 亮	100	0	100
8	北澤 正浩	75	25	100	28	内田 敏	-出席規定免除-		
9	今野 丁三	-出席規定免除-			29	矢田 昭一	-出席規定免除-		
10	倉本 宏昭	-出席規定免除-			30	柳沢 哲也	100	0	100
11	増田 嘉一郎	25	75	100	31	吉原則 光	-出席規定免除-		
12	目黒 恵一	100	0	100	32				
13	新川 尚	100	100	200	33				
14	二宮 麻理子	75	25	100	34				
15	二宮 登	100	0	100	35	高梨 昌芳	名 誉 会 員		
16	岡田 清七	-出席規定免除-			36				
17	大川 伸一	100	0	100	37				
18	太田 勝典	-出席規定免除-			38				
19	太田 幸治	-出席規定免除-			39				
20	齋藤 善孝	50	50	100	40				
例会日	4日	11日		18日		25日			平均
例会出席率	$\frac{21}{25}$	84.0%	$\frac{25}{26}$	96.15%	$\frac{26}{27}$	96.30%	$\frac{24}{26}$	92.31%	%
修正出席率	$\frac{25}{25}$	100%	$\frac{26}{26}$	100%	$\frac{27}{27}$	100%	$\frac{25}{26}$	96.15%	99.04%